

上伊那地域における家畜防疫強化への取組

：伊那家保 杉本和也

本県では2013年度までの3年間、文科省事業を導入し、鳥インフルエンザ対策を推進。上伊那地域では、2013年度から農場、机上、屋外実技の総合型家畜防疫演習を3年連続で実施。当所は演習を通じ、関係者に対し防疫意識を啓発。2015年2月、農協が研修会を開催、同年8月には伊那市が研修会を開催。同年10月、伊那市及び農協と協力し管内最大規模の採卵養鶏農場を発生想定として防疫演習を実施。演習にあたり、①当所は文科省事業で導入した電子機器を活用、②想定農場は埋却候補地の再検証、③伊那市は焼却埋却の検討協力、④農協は大型車両の発泡消毒実演協力、⑤建設業協会は埋却溝掘削の検討協力、⑥獣医師会は協定協力獣医師の出席など、関係機関が積極的に演習に参画。さらに当所では、①国主催の防疫演習に参画、②国の備蓄資材視察研修を企画、③2016年2月に家きん衛生の研修会を開催など、鳥インフルエンザ対策を中心に地域の家畜防疫強化の取組を継続中。